高齢者あんしんセンター希望館たより
回覧
R8.11月1日号

人生会議（ＡＣＰ）をご存知ですか？

誰でも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。
命の危険が迫った状態になると、**約７０％の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えることができなくなる**と言われています。

「食べられなくなったら・・」
「延命治療はしたくない」

「孫の結婚式まで頑張りたい」
「最期まで家で過ごしたい」



そこで

人生の終わりまでどう過ごしたいか、
あなたが大切にしたいこと、望んでいる生き方、
そして「もしものとき」にどのような医療やケアを望むかについて、
前もって考え、家族や関係者と繰り返し話し合っておくことは大切です。

人生会議
（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）



進め方

①自分の価値観を考える。
大切にしたい生き方、避けたい医療など

②信頼できる人を選ぶ。
意思表示できない時等の代弁者

③周囲の人と話し合う。
家族や医療などの関係者

④話し合いの結果を共有する。
内容の記録、見直し、改定

気持ちは変わるので、何度でも繰り返し考え、話し合ってよい。

「人生会議してみませんか」（厚生労働省）を加工して作成
（https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html）

裏面へ